

医療勤務環境改善研修会を開催しました！

11月27日に高知市のサンピアセリーズで「医療勤務環境改善研修会」を開催し、医療関係者の方々31名にご出席いただきました。この研修会の様子を少しだけご紹介します。

◆労働基準法等の改正について◆

最初に、高知労働局の上久保さんから、働き方改革関連法の概要についての講演がありました。

2019年4月以降、順次施行される時間外労働の上限規制、年次有給休暇の確実な取得、正規雇用労働者と非正規雇用労働者の間の不合理な待遇差の禁止等の説明がありました。



◆モデル医療機関からの取組発表◆

次に、昨年度モデル医療機関として、「医療勤務環境改善マネジメントシステム」を導入して勤務環境の改善に取り組んだ3つの医療機関から事例の発表がありました。

<島津病院>

現状分析の結果から、「年次有給休暇の取得率の向上」と「時間外労働の削減」の2点に取り組んでいます。

休暇の取得に関しては、勤務表作成後でも職員が希望すれば業務に支障がない場合は、柔軟に対応するようにしたことで、取得率が向上しています。

また、時間外労働については、勉強会の開催等により労働力の底上げを行うとともに、業務の平準化や時間外の多い職員との面談の実施等により、特に看護部において大きく減少しています。



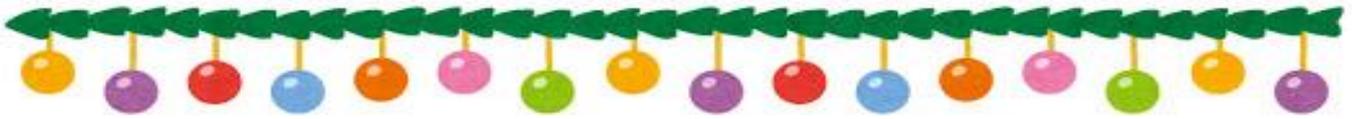
<土佐市民病院>

現状分析の結果で、職員の重要度が一番高かった、「年次有給休暇の取得促進」に取り組んでいます。

今年度は、「年次有給休暇を月1日、誕生月は2日取得すること」を目標に掲げ、「年休消化で疲れも消化！」という親しみやすいキャッチフレーズのポスターをつくり、院内に掲示しているということが印象的でした。

年休の取得促進のため、今後は、業務改善にも取り組んでいくとのことでした。





<吉井病院>

「幡多地区を日本一の骨粗鬆症管理モデル地区とする」という病院の目標の下に、各部署が現状分析の結果を踏まえたテーマを決めて取り組んでいます。

まだ、取組は途中ではありますが、職員の間では徐々にPDCAサイクルの理解も進んでいます。

※3つの医療機関の研修会当日の資料を、支援センターのHP (kinmukankyoukaizen@kochi-mrr.or.jp)に掲載していますので、併せてご覧ください。

◆マネジメントシステムに関する講義とワークショップ◆

午後の部では、東京医療保健大学大学院看護学研究科の中島美津子先生から、急速な高齢化、労働人口の減少等が進む中での勤務環境改善の取組の必要性和、「医療勤務環境改善マネジメントシステム」による取組の進め方についての講義がありました。

その後、ワークショップの参加者14名を医療機関や職種がなるべく重ならないように3つのグループに分け、仮定の医療機関の事例をもとに、マネジメントシステムで実際に使用する「現状分析・対策立案シート」を話し合いながら作成しました。

参加者からは、時折笑い声も聞こえてきて、和やかな雰囲気の中でワークショップが進みました。

参加者アンケートでは、「日々の業務の中で改革の必要性を感じていたのでとても参考になった」「事例を通して皆さんの客観的意見を聞くことができた。このように事実を見える化することは改善の取組の出発点としては大事なことだと確認できた」等の声があがっています。

また、講師からは講評として、

- ・組織は地域に必要とされることが大事。
- ・管理職は数値やデータで組織を可視化していく必要がある。
- ・職員が意見や不満を所属長などに言える環境、風土をつくる必要がある。
- ・自分の組織に自分や家族を入院させたいか、友人と一緒に働くことを勧められるかという視点で見るとは凄く大切 などといった話がありました。



◆個別相談会◆

研修会終了後、事前予約制で個別相談会を実施しました。2つの医療機関からの相談に対して、専門アドバイザーが丁寧に回答しました。



社会保険労務士や医業経営コンサルタントからのアドバイスが無料で受けられます！

高知県医療勤務環境改善支援センター

(事業受託者：一般社団法人 高知医療再生機構)

TEL 088-822-9910

平日8:30 ~ 17:15まで

ホームページ <https://www.kochi-mrr.or.jp/kinmukankyoukaizen>

E-mail kinmukankyoukaizen@kochi-mrr.or.jp

勤務環境の
ことならお任せ

